



令和7年3月31日

印西市長 藤代 健吾 様

住 所 印西市小倉台

団体名 印西・地域猫友の会

代表者名 会長 小川 培雄



地域猫活動普及啓発事業業務完了報告書

地域猫活動普及啓発事業における業務について、契約書第12条第1項の規定により報告します。

記

- 1 契約件名 地域猫活動普及啓発事業
- 2 実績額内訳

項 目	数量	単価	実績額	備考
①地域猫活動サポート事業	7	15,000 円	105,000 円	
②猫被害改善事業	2	30,000 円	60,000 円	
報償費	1	150,000 円	150,000 円	
資料作成費	1	100,000 円	100,000 円	
保険料	1	10,950 円	10,950 円	
合 計			425,950 円	

3 実績額合計 金 425,950 円

R6年度 協働事業 地域猫普及啓発事業

No	事業区分	事業実施場所	申請日	予定頭数	金額	文書番号	交付決定日	実績報告	実績金額	命令日	実績頭数(オス/メス/雄胎)	備考
1	①地域猫活動サポート事業	東京サバゲパーク	4月10日	?	15,000	105	4月11日		0		0	0 取り下げ
2	②猫被害改善事業	鈴木梨園	5月7日	20くらい	30,000	指令259	5月7日	7月8日	30,000	7月8日	4	子猫14匹里親探し
3	①地域猫活動サポート事業	東の原	7月18日	メス1子3	15,000	730	7月18日	9月3日	15,000	9月3日	0	子猫3匹里親探し & オス1匹申請中
4	①地域猫活動サポート事業	平岡	7月18日	?	15,000	732	7月18日	9月3日	15,000	9月3日	0	子猫4匹里親探し
5	②猫被害改善事業	高西新田 (阿夫利神社内)	7月18日	26	30,000	733	7月18日	12月18日	30,000	12月23日	7	13 2
6	①地域猫活動サポート事業	木下	9月26日	メス1子4	15,000	1104	9月26日	2月19日	15,000	2月28日	0	1 0
7	①地域猫活動サポート事業	木下	9月26日	メス1子3	15,000	1105	9月26日	2月19日	15,000	2月28日	0	0 1
8	①地域猫活動サポート事業	小林	9月26日	3	15,000	1107	9月26日	2月19日	15,000	2月28日	1	0 子猫3匹里親探し
9	①地域猫活動サポート事業	平岡	9月26日	メス4オス2子4	15,000	1108	9月26日	2月19日	15,000	2月28日	1	3 0 子猫は保護していないため、継続的に支援が必要
10	①地域猫活動サポート事業	木下東	9月26日	3匹	15,000	1109	9月26日	2月19日	15,000	2月28日	2	0 0
11	①地域猫活動サポート事業	木下東	9月26日	1匹	15,000	1110	9月26日	2月19日	0		0	0 猫が来なくなり捕獲できず。
12	①地域猫活動サポート事業	木下東	10月24日	?	15,000	1304	10月24日	2月19日	0		0	0 猫が来なくなり捕獲できず。
210,000										165,000	15	31 7

地域猫活動 実践ルールブック



印西市



印西・地域猫 友の会

カインズ
千葉ニュータウン店

印西市 × 印西・地域猫友の会 × **CAINZ**

印西くみまち

にゃんアワー

人とねこの
しあわせを
考える時間!

🐾 2.22^土 13:00・16:00 🐾

カインズ 千葉ニュータウン店
2階エレベーターホール

撮影した写真の
パネル展示も実施!



印西市マスコットキャラクター
「いんざい君」

特別ゲストトーク

By 写真家 太田 康介

時間 13:30～14:30



日本写真家協会(JPS)会員。
報道カメラマン時代には世界各地
を撮影。東日本大震災後は、原発
周辺に取り残された家畜やペット
の写真を撮るとともに、飼い主の
いない猫のTNR及び給餌活動を
続けている。

保護猫譲渡会

By HugKu-Me

時間 13:00～16:00

ねこちゃん好きが
楽しめるDIY!

DIYワーク ショップ

By カインズ

時間 13:00～16:00

動物愛護 セミナー

By 千葉県動物愛護センター

時間 15:00～15:20

ペット防災 トーク

By 印西市環境保全課&
INZAIみんなの
防災プロジェクト

時間 15:30～15:50

動物のお医者さん コーナー

By ペットウェルクリニック

時間 13:00～16:00

くみまちしっぽ 応援ボックス

(保護猫支援のフードドライブ活動)

By カインズ

時間 13:00～16:00

くみまち犬猫譲渡プロジェクト



くみまち

まちのくらしをみんなでDIY。

カインズは、創業来、地域と共にくらしを営みながら歩んできました。その間、地球環境の変化や少子高齢化など、くらしは大きく変化し、地域ごとに様々な課題も生まれてきました。これからの地域のくらしを、より安心に、より楽しく、より個性をのばすために。カインズは、地域の皆さんと協力し、地域の皆さんが主役の、未来の「まちのくらし」を共に創っていきます。それが「くみまち構想」です。





協働の機会提案書(新規提案用)

令和5年 6月 23日

印西市長 板倉 正直 様

(登録者) 登録番号 —

名 称 印西・地域猫友の会

所在地 印西市小倉台

代表者 会 長 小川 培雄

連絡先

企画提案型協働事業を、下記のとおり提案します。

提案事業名	「地域猫活動」普及啓発事業
現状・課題 (指定テーマ型の場合はテーマ名のみ記入)	殺処分によらず野良猫を減らしていく有効な取組みとして、「地域猫活動」は、多くの自治体で推奨されている。印西市でも、避妊去勢手術費の助成が行われているが、様々な理由から活用が広がっておらず、理解が進んでいない地区では、餌やりトラブルも少なからずある。また、高齢等の事情による飼育放棄や捨て猫、虐待、多頭飼育も社会問題となっている。猫の適正飼育の推進も含め、地域猫活動の普及を進めていく必要がある。
提案理由	地域猫活動は、制助成金度をつくれば普及するものではなく、実地で支援できる人材が地域に必要である。行政が得意とするところと、実行経験のある市民団体でなければできないことがあり、相互の協力により、効果的な普及啓発ができ、人にも動物にも優しい地域社会としていくことができる。
提案内容 (予算の概算も記入)	適正飼育、地域猫活動の啓発と支援、多頭飼育や高齢等による飼育放棄など様々な事例に行政と市民団体が連携して対応していくことにより、地域人材を育成し、ネットワークを強化していく。現在の相談実績から年2,019,000 1,249,300円を見積もったが、実際の要請により対応していくことになる。
貴団体の特性、協働で実施するメリット (提案者が事業実施できる能力や有利なアピールポイント)	印西・地域猫友の会は現在 100 名以上の会員を有し、市内・近隣市町で地域猫活動、保護猫・里親探し活動をしている「活動家」のネットワークをもっている。また、市の手術費助成に先駆けて、市内の動物病院と連携して手術費助成も行ってきた実績がある。協働により更にネットワークを強化し、地域での人材育成を進めることができる。
事業実施により得られる効果 (自由提案型は今後の展望も記入)	地域猫活動の取組みを増やすことにより、殺処分をゼロにし、野良猫を減らすことで猫による生活被害を減らしていくことができる。行政との協働により、関わる人材も増え、賛同者からの寄付を活かして、将来的には医療費等にアてる基金を構築していきたい。

協働事業計画書			
事業名	「地域猫活動」普及啓発事業		
事業の目的	愛護動物である猫が、適正に飼育され、たとえ飼い主がいなくても虐待や殺処分されることなく、地域で生を全うしてもらえる優しい地域社会をつくっていく。		
市の施策上の位置付け及び協働部署	(施策名) 犬猫適正飼育推進事業 (部署名) 環境保全課		
事業期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日		
事業の内容 詳細に役割分担別に記入 (役割分担を、できれば事前に市の担当に相談して 記すか、希望を記す)	提案者	市	
	①適正飼育の啓発と地域猫活動の普及 ・地域猫活動の出張サポート、継続相談 ・サポート事業用説明資料(啓発資料)の企画・作成 ・ホームページ等を通じた相談への対応 ・外部講師を招聘して一般向けの普及講演会の企画、実施 ②猫被害改善の提案と支援 (多頭飼育、捨て猫、虐待等)	①適正飼育の啓発と地域猫活動の普及 ・広報いんざい等への啓発記事の掲載 ・公共施設へのポスター掲示、啓発チラシ、パンフレットの配布 ・獣医師会等関係機関への協力要請 ・講演会、講座参加者の募集協力、施設の提供 ②適正飼育の啓発、市民からの苦情への応対、関係各所の調整	
事業に要する経費 ※詳細については、様式③による	120,000 円	970,000 円	
事業の運営体制 (事業関係者、協力者、有資格者など)	会員には 地域猫活動だけでなく一時保護、里親探しに経験豊富な者が数多く在籍している。これまでも直接会にサポートを求められるケースが数多くあり、誠実に対応してきた実績がある。要請により、当会の運営委員会でコーディネートして適材を派遣していく。		
協働のメリット (各立場にとっての効果を簡潔に)	提案者	市民	市
	・地域猫活動の中間支援団体としての基盤を強化できる。 ・活動家ネットワークをさらに強化できる。	・野良猫を減らし、生活環境を向上できる。 ・生き物の命を大切にする優しい地域社会をつくれる。	・市民からの猫被害の苦情に適切に対応できる。 ・生活環境を考えるボランティア人材を増やすことができる。

対話方法 市との協議や打ち合わせ方法	月ごとに、実施した活動の経過、成果、実績を文書又は対面で報告する。また、市への苦情や要望につどつと協議して対応していく。
事業の周知や評価の方法 (具体的な目標値など)	事業概要の紹介や相談、講演会の周知については、広報いんざいや市ホームページ、市SNSで募集してもらう。動物の適正飼育や地域猫の活動を理解してもらう出張サポート要請に誠実に対応し事業を広めていく。
備 考	関係団体等 印西市市民活動支援センター その他（年次目標） 【1年目】 市に猫被害の苦情や地域猫活動の要望があった地区で、住民・市と協働により地域猫活動が展開できるようサポートしていく実践活動を着実に積み重ね、実績をつくる。サポート体制を整えるために、会員向け講習情報ネットワークを確立し、人材の育成に努める。ホームページを経由した相談にも対応できるよう適切に運営する。 また、動物愛護に関する一般向けの講演会を実施し、動物愛護精神の普及に努める。 【2年目】 1年目で取り組んだことを着実に定着させ、さらに充実、基盤を強化する。人材育成と財政的な基盤を強化し、医療費等にあてる基金の設立を検討する。市を超えて連携する体制を整える。 【3年目】 さらなる充実と基盤強化に努める。 基金の適切な運用を確立し、活動家の支援体制を整え、「中間支援団体」としての位置づけを確立する。 人材のフォローアップとなる勉強会等を継続的に開催し、人材データベースを構築する。

(提案書 様式③)

企画提案型協働事業経費内訳書

総事業費（無償分を含む） 金 1,249,300 円

市から団体への委託費 （金 970,000 円）

【歳入】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
市に負担を求める額		970,000
提案者負担分	ホームページの構築費、運営費 10,000 円×12 月	120,000
無償労働力等 換算金額	・②猫被害改善事業の現地立ち合い、アセスメント、連絡調 整(計3時間)の労働力 15,000 円(7,500 円×2人)×5回 ・サポート事業基本プログラム作成 1,026 円×15 時間 ・講演会 講師交渉・打ち合わせ、当日準備、運営 1,026 円×35 時間 ・捕獲機貸出し 66 回×500 円	(159,300)
合計（無償分を含めない）		1,090,000
無償分を含めた合計額		(1,249,300)

【歳出】

項 目	積算根拠（内容・数量・単価など）	見積り金額(円)
人件費	①地域猫活動サポート事業(現地立ち合い、捕獲のサポ ート、地域理解・助成金申請の支援) 7,500 円×2人×36 回 ②猫被害改善事業(捕獲、一時保護、医療処置の立ち合い 等で6時間) 15,000 円×2人×5回	690,000 ①、②ともに 単価契約
報償費	外部講師 講演会謝礼 1回	150,000
資料作成費	地域猫活動サポート事業用の説明資料 500 部×200 円	100,000
広報費（提案者負担）	ホームページ構築費・運営費 10,000 円×12 月	120,000
保険料	傷害保険 1回2名活動1年分	30,000
提案者が負担する無 償労働力	・②猫被害改善事業の現地立ち合い、アセスメント、連絡調 整(計3時間)の労働力 15,000 円(7,500 円×2人)×5回 ・サポート事業基本プログラム作成 1,026 円×15 時間 ・講演会 講師交渉・打ち合わせ、当日準備、運営 1,026 円×35 時間 ・捕獲機貸出し 66 回×500 円	(159,300)
合計（無償分を含めない）		1,090,000
無償分を含めた合計額		(1,249,300)

(提案書 様式④)

年間事業スケジュール

実施予定日	活 動 内 容	参加人数
4月中旬	市との打ち合わせ、契約	
5月中旬	地域猫活動サポート事業用基本プログラム作成 会員向け事業説明会	
通年、随時	ホームページの運営、問合せへの対応 地域猫活動の出張サポート 猫被害の対策、改善計画の提案等 活動家フォローアップ勉強会（会員向け人材育成）	
毎月	市への月例報告	
10月中旬	外部講師による一般向け講演会	
3月上旬	基金の設置検討 市への一年間の実績報告	